

海津市コミュニティバス利用状況

I 総利用者数と定時定路線の特性

1. 利用者数

(1) 総利用者数の推移

平成30年度（H29.10～H30.9）の総利用者数（定時定路線＋デマンド交通）は100,055人であり、平成28年度の0.88倍で減少傾向です。

平成30年度の定時定路線（海津羽島線、南幹線、お千代保稲荷線）は80,297人であり、平成28年度の0.85倍まで減少しています。一方、平成30年度のデマンド交通は19,758人であり、平成28年度の1.06倍まで増加しています。

「海津市地域公共交通網形成計画」では、平成31年度の総利用者数目標を113,000人としていますが、約13,000人の不足となっており、現状のままでは達成が難しい状況です。

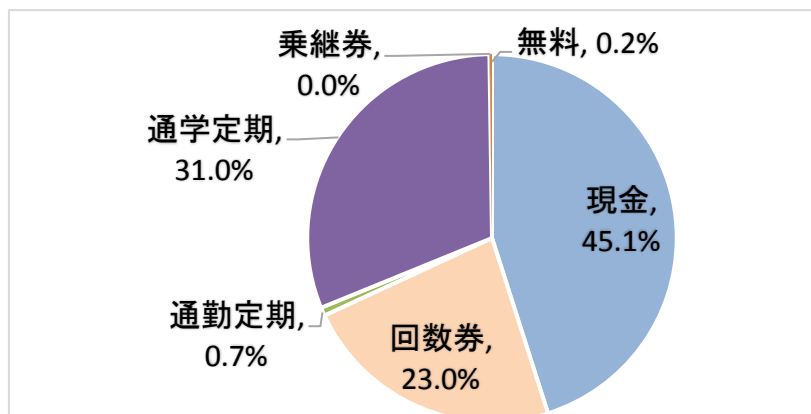
表 年間の総利用者数の比較（10月から翌年9月までの1年間）

	H28年度 H27.10～H29.9	H29年度 H28.10～H29.9	H30年度 H29.10～H30.9	増減比 H30/H28
A 定時定路線	94,834 人	87,872 人	80,297 人	0.85
B デマンド交通	18,601 人	19,000 人	19,758 人	1.06
A+B 総利用者数	113,435 人	106,872 人	100,055 人	0.88

(2) 定時定路線の券種別利用者数の状況

平成30年度の定時定路線の券種別利用者数は、現金が最も多く45.1%、通学定期が31.0%、回数券が23.0%となっています。

図 定時定路線の券種別利用者数（平成30年度）



(3) 定時定路線の券種別利用者数の推移

定時定路線の券種別利用者数について、平成28年度を100としたときの平成29年度及び30年度の指数は、下図のとおり、現金と通勤定期は増加傾向ですが、通学定期、回数券等は減少傾向です。

平成30年度の現金利用者は36,214人で、平成28年度と比較すると2,969人、8.9%増加しています。通勤定期は、実数は少ないですが96.3%増となっています。

しかし、平成30年度の通学定期は24,865人で、平成28年度と比較すると14,677人、62.9%まで減少しており、通学定期の減少が総利用者数の減少に影響しています。

図 定時定路線の券種別利用者数の推移（平成28年度を100とした時の指数）

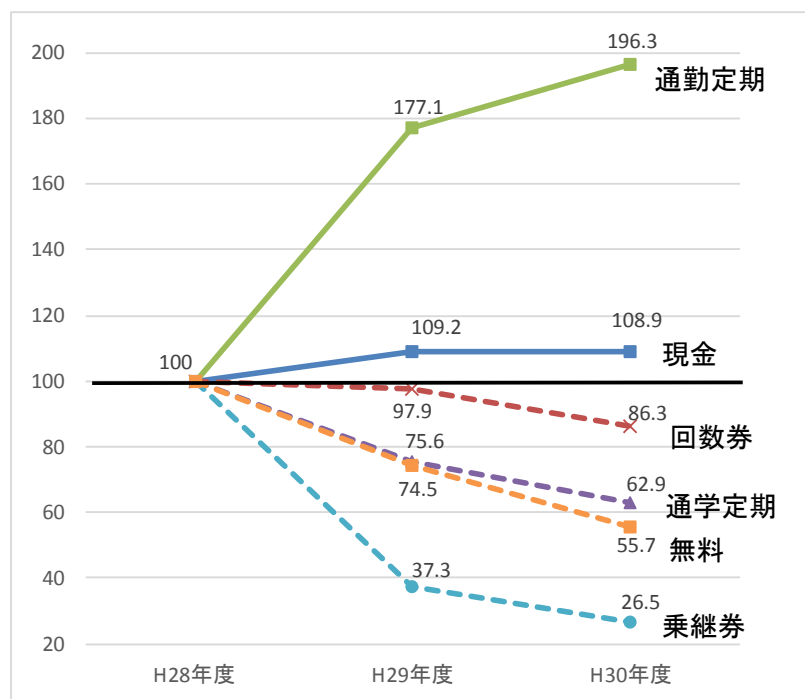


表 年間の券種別利用者数の推移

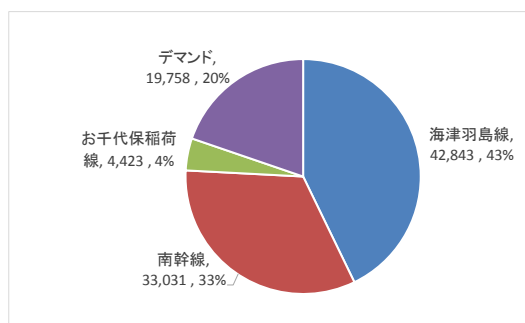
	券種別	H28年度 H27.10～H28.9		H29年度 28.10～H29.9		H30年度 H29.10～H30.9		H28～H30の変化	
		総利用者数	券種別 割合	総利用者数	券種別 割合	総利用者数	券種別 割合	増加数 H30-H28	増減率 H30/H28
定時定路線	現金	33,245	35.1%	36,293	41.3%	36,214	45.1%	2,969	108.9%
	回数券	21,377	22.5%	20,920	23.8%	18,457	23.0%	△ 2,920	86.3%
	通勤定期	297	0.3%	526	0.6%	583	0.7%	286	196.3%
	通学定期	39,542	41.7%	29,893	34.0%	24,865	31.0%	△ 14,677	62.9%
	乗継券	102	0.1%	38	0.0%	27	0.0%	△ 75	26.5%
	無料	271	0.3%	202	0.2%	151	0.2%	△ 120	55.7%
	①合計	94,834	100.0%	87,872	100.0%	80,297	100.0%	△ 14,537	84.7%
デマンド交通	②	18,601		19,000		19,758		1,157	106.2%
合計	①+②総合計	113,435		106,872		100,055		△ 13,380	88.2%

2. 路線別の利用状況

(1) 利用者数

平成30年度の路線別利用者数は、定時定路線の海津羽島線が42,843人（43%）、南幹線が33,031人（33%）、お千代保稲荷線が4,423人（4%）、デマンド交通が19,758人（20%）であり、運行本数が多い海津羽島線が半数近くを占めています。

図 路線別利用者数（平成30年度）



(2) 券種別利用者数

路線ごとに、券種別の利用者数を平成29年度と平成30年度で比較しました。

海津羽島線の通学定期は0.73倍まで減少し、合計では0.88倍となっています。

南幹線は、現金、通学定期ともに4～6%増加しており、全体ではほぼ横ばいです。

お千代保稲荷線は、通学定期が0.63倍まで減少しています。

通学利用は、岐阜羽島駅に連絡している海津羽島線、お千代保稲荷線の減少幅が大きくなっています。通院・買い物等の利用は、やや増加傾向と推測されます。

表 平成29年度及び平成30年度 路線別券種別の利用者数

	券種別	H29年度 H28.10～H29.9		H30年度 H29.10～H30.9		変化	
		総利用者数	券種別割合	総利用者数	券種別割合	増加数 H30-H29	増減率 H30/H29
海津羽島線	現金	25,492	52.4%	25,160	31.3%	△ 332	0.99
	回数券	7,286	15.0%	5,927	7.4%	△ 1,359	0.81
	通勤定期	417	0.9%	484	0.6%	67	1.16
	通学定期	15,299	31.5%	11,150	13.9%	△ 4,149	0.73
	乗継券	21	0.0%	22	0.0%	1	1.05
	無料	94	0.2%	100	0.1%	6	1.06
	合計	48,609	100.0%	42,843	53.4%	△ 5,766	0.88

	券種別	H29年度 H28.10～H29.9		H30年度 H29.10～H30.9		変化	
		総利用者数	券種別割合	総利用者数	券種別割合	増加数 H30-H29	増減率 H30/H29
南幹線	現金	9,836	29.7%	10,278	31.1%	442	1.04
	回数券	12,498	37.7%	11,469	34.7%	△ 1,029	0.92
	通勤定期	53	0.2%	35	0.1%	△ 18	0.66
	通学定期	10,608	32.0%	11,199	33.9%	591	1.06
	乗継券	13	0.0%	2	0.0%	△ 11	0.15
	無料	105	0.3%	48	0.1%	△ 57	0.46
	合計	33,113	100.0%	33,031	100.0%	△ 82	1.00

	券種別	H29年度 H28.10～H29.9		H30年度 H29.10～H30.9		変化	
		総利用者数	券種別割合	総利用者数	券種別割合	増加数 H30-H29	増減率 H30/H29
お千代保稲荷線	現金	937	15.3%	776	17.5%	△ 161	0.83
	回数券	1,136	18.6%	1,061	24.0%	△ 75	0.93
	通勤定期	56	0.9%	64	1.4%	8	-
	通学定期	3,986	65.1%	2,516	56.9%	△ 1,470	0.63
	乗継券	4	0.1%	3	0.1%	△ 1	0.75
	無料	3	0.0%	3	0.1%	0	1.00
	合計	6,122	100.0%	4,423	100.0%	△ 1,699	0.72

3. 鉄道駅バス停の乗降者数

バスと鉄道との乗り継ぎの状況を把握するため、鉄道駅(駒野駅、石津駅、岐阜羽島駅)バス停の乗降者数を整理すると下表のようになります。

平成28年度(H27.10～H28.9)～平成30年度(H29.10～H30.9)を比較すると、鉄道駅バス停の乗降者総数は減少傾向です。

駅別には、岐阜羽島駅(新羽島駅)は通学定期利用者の減少が影響しています。

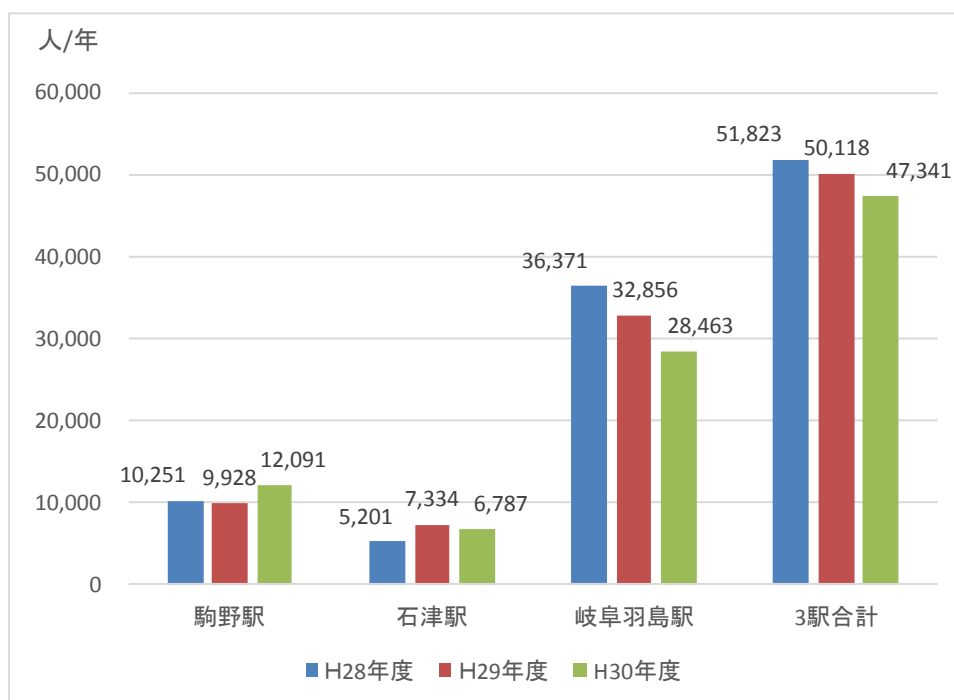
石津駅は海津羽島線の延伸効果、駒野駅は高校生利用の増加により増えています。

表 駅バス停の乗降者数

単位: 人/年

	駒野駅	石津駅	岐阜羽島駅	3駅合計
H28年度	10,251	5,201	36,371	51,823
H29年度	9,928	7,334	32,856	50,118
H30年度	12,091	6,787	28,463	47,341
H29/H28	0.97	1.41	0.90	0.97
H30/H29	1.22	0.93	0.87	0.94

図 駅バス停の乗降者の推移



4. 通学利用の考察

(1) 駒野駅を利用する通学利用

南幹線の通学定期利用及び駒野駅バス停の利用者数は、平成29年度から平成30年度にかけて増加しています。

これは、平成30年4月から駒野駅を経由して海津明誠高校へ通学する学生の増加によるもので、バスの便別利用者数をみると、朝の駒野駅乗車人員及び夕方の駒野駅降車人員が増加しています。

図 南幹線・お千代保稲荷線の駒野駅乗降者数の変化

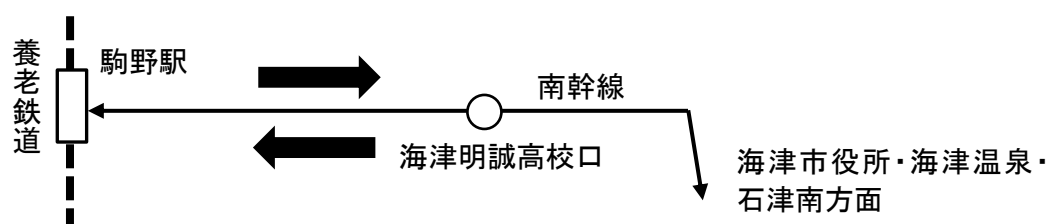


図 駒野駅発の乗車人員の変化（南幹線、海津市役所方面行き）

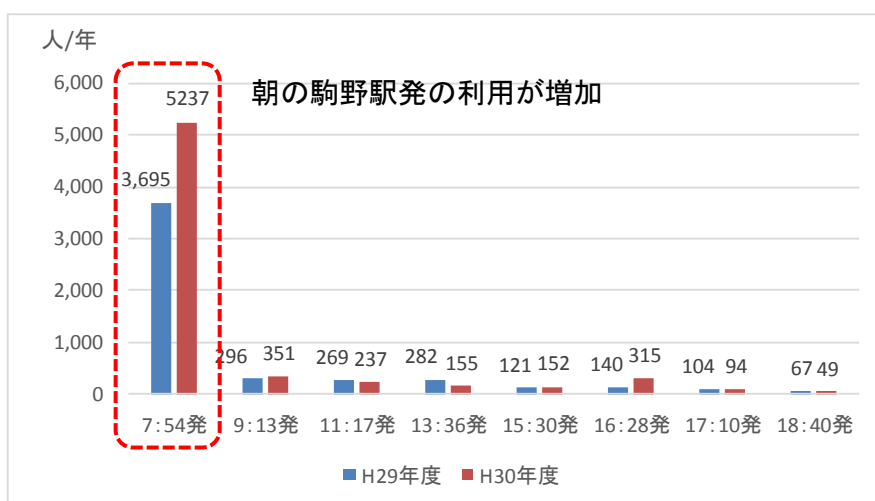
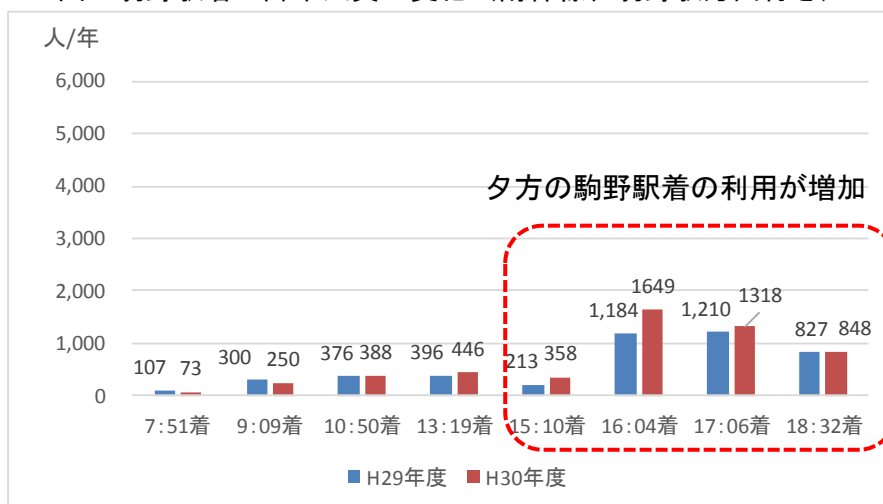


図 駒野駅着の降車人員の変化（南幹線、駒野駅方面行き）



※平成29年10月のダイヤ改正により、H30年度は、最終便が土日祝日運休となっている。

(2) 岐阜羽島駅を利用する通学利用

海津羽島線の通学定期利用及び岐阜羽島駅バス停の利用者数は、平成29年度から平成30年度にかけて減少しています。

これは、市外から市内、及び市内から市外への両方向の通学する学生の減少によるもので、バスの便別利用者数をみると、朝夕の岐阜羽島駅乗車人員及び岐阜羽島駅降車人員が平成29年度から平成30年度にかけて減少しています。

図 岐阜羽島駅発の乗車人員の変化（海津羽島線、海津市役所方面行き）

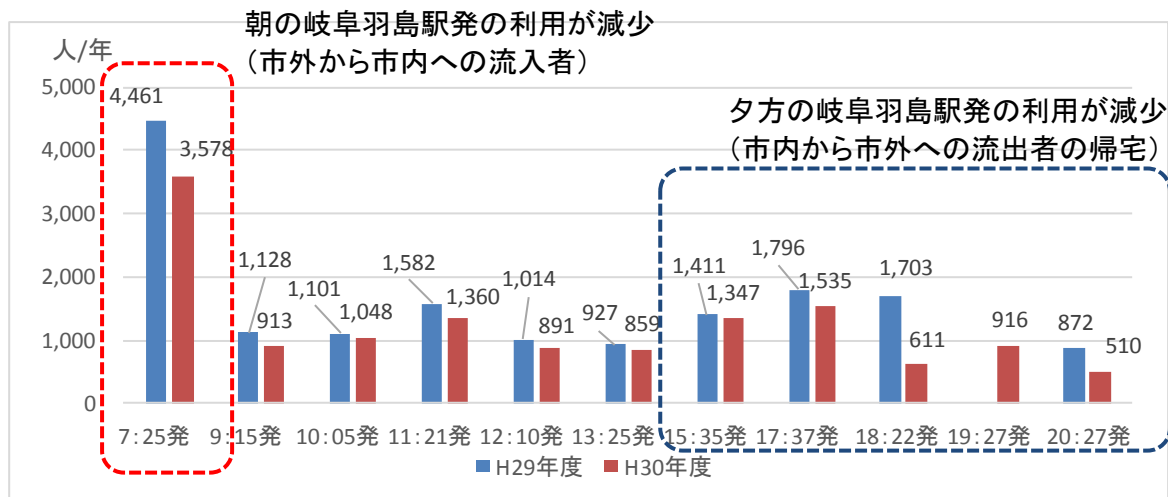
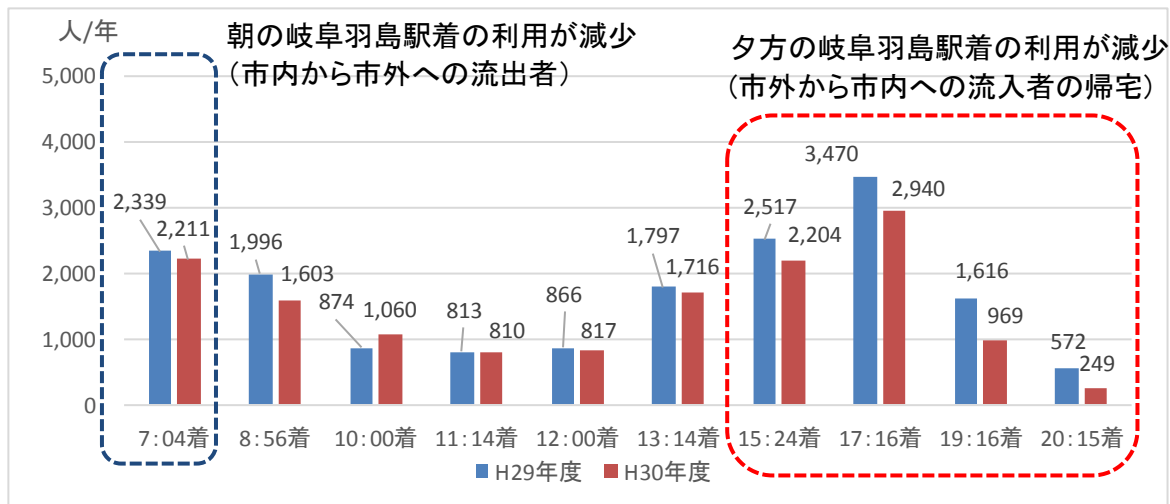


図 岐阜羽島駅着の降車人員の変化（海津羽島線、岐阜羽島駅行き）



※平成29年10月のダイヤ改正により、H29年度とH30年度では発着時刻が一致しないが、ほぼ同じ時刻の利用者数で比較した。

※朝の始発便の土日祝日は、H29年度は運休、H30年度は運行となっている。

Ⅱ デマンド交通の利用特性

運行開始（平成 27 年 10 月 1 日）以降、平成 30 年 12 月 11 日までの利用実態を整理・分析しました。これまでに報告してきた特性と同様の結果になっています。

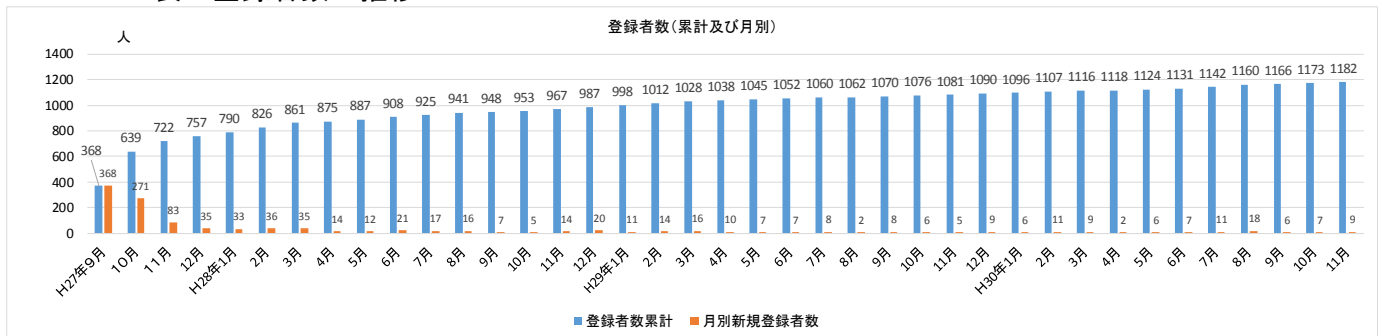
なお、予約システムによる予約状況データをもとに整理・分析したもので、実乗車人員とは異なります。

1. 利用者登録状況

（1）登録者数の推移

運行開始前（平成 27 年 9 月末）の 9 月に 368 人の登録があり、その後の登録者数は減少傾向ですが、最近では月に 10 人前後の登録があり、平成 30 年 11 月までに累計で 1,182 人が登録されています。なお、登録しなくても利用できるため、利用者の数とは一致しません。

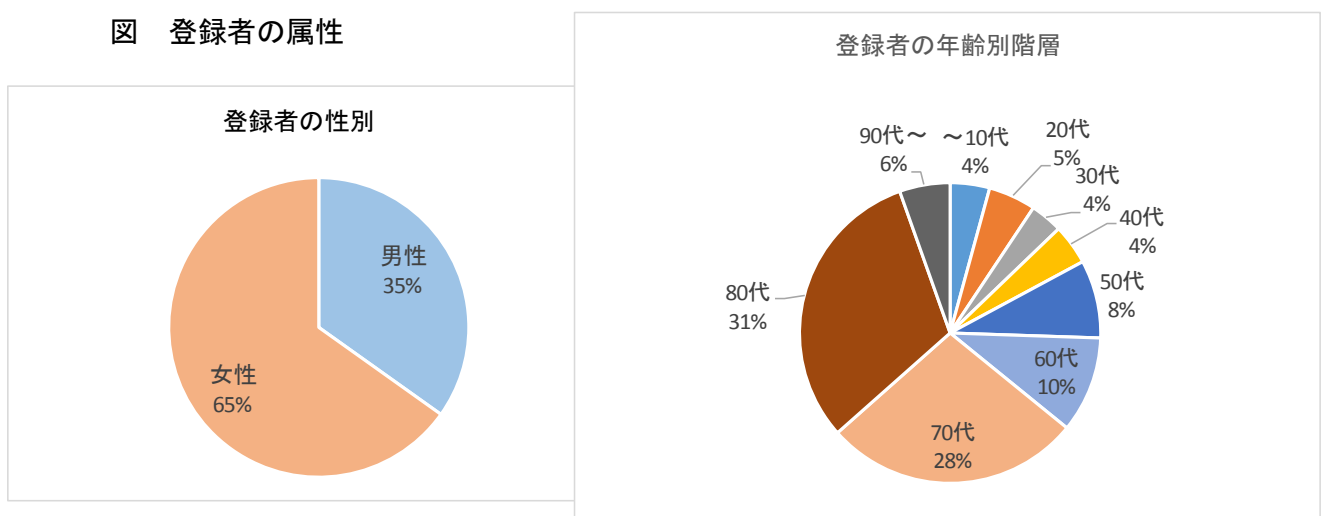
表 登録者数の推移



（2）登録者の属性

登録者の約 65%は女性であり、年齢別にみると 60 歳以上の高齢者が約 75%を占めています。（平成 30 年 12 月 11 日までの累計）

図 登録者の属性

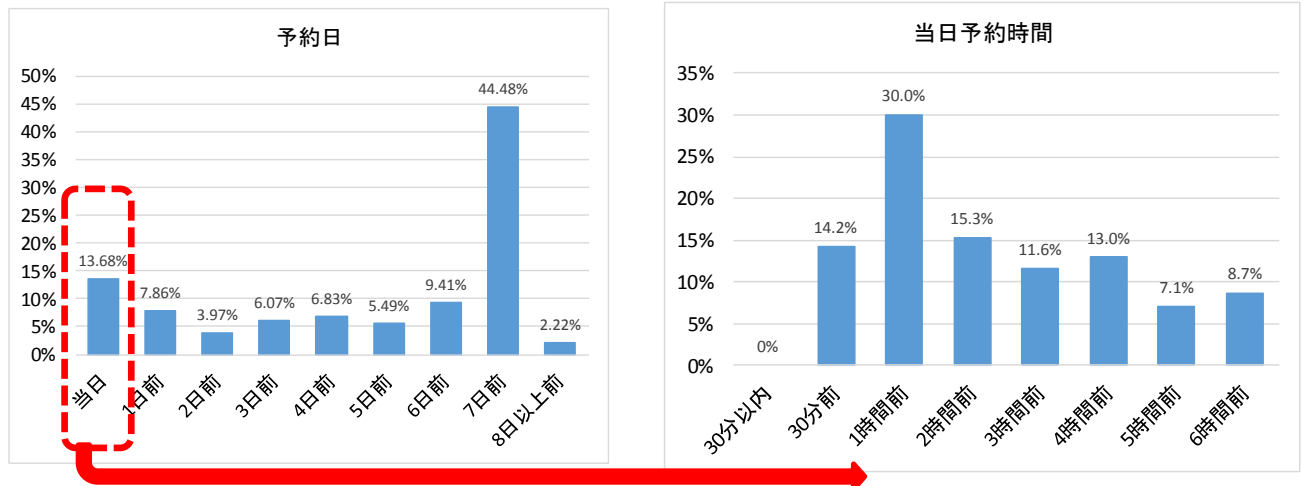


2. 予約状況

(1) 予約時期

予約日は、運行7日前が最も多く、通院予約や定期的な利用が多いものと思われます。次いで多いのは、当日になっており、当日の中では1時間前が最も多く、利用時刻がほぼ決まってから予約される方が多いものと思われます。(平成30年12月11日までの累計)

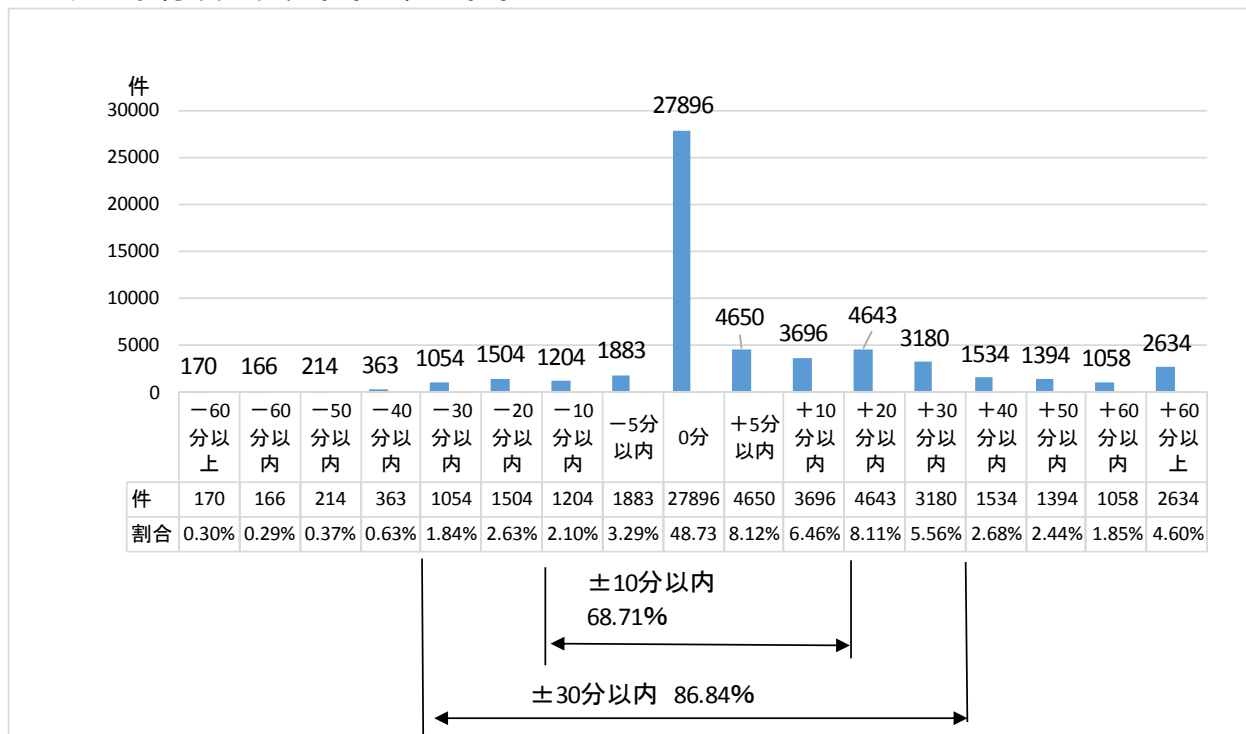
図 予約時期



(2) 乗車時刻と希望時刻との差

希望の時刻通りに予約が成立した割合は48.7%、希望時刻の±10分以内で予約が成立したのは68.7%、±30分以内では86.8%に達しており、概ね希望時刻通りに予約できているといえます。(平成30年12月11日までの累計)

図 予約確定乗車時刻と希望時刻の差

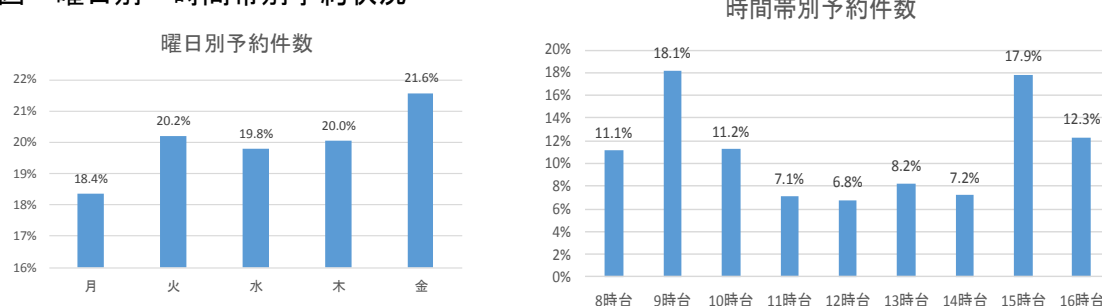


3. 利用状況

(1) 曜日別・時間帯別予約状況

予約された曜日は金曜日が最も多く、月曜日がやや少ない傾向があります。
予約されている時間は、午前中は9時台、午後は15時台が多くなっています。

図 曜日別・時間帯別予約状況



(2) 乗り合わせ状況

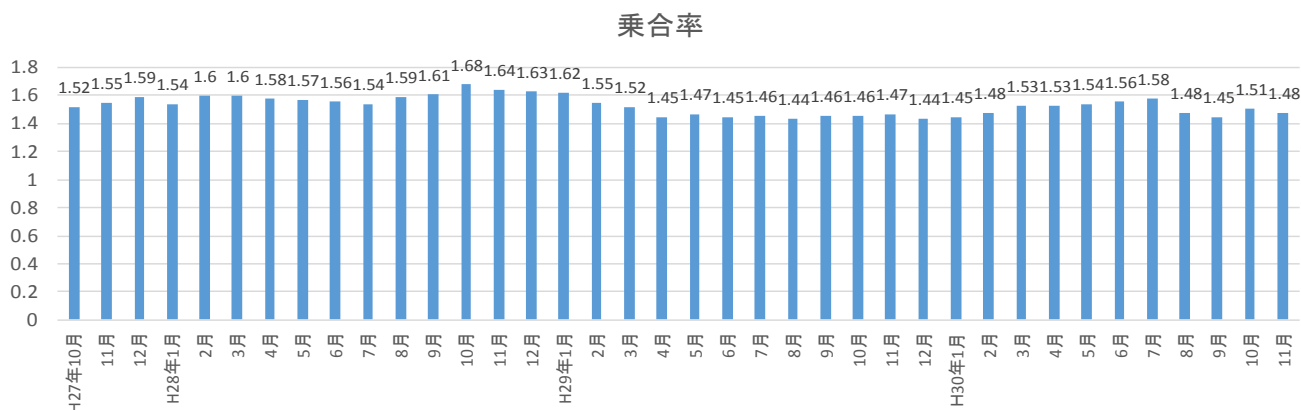
1回の運行（「1運行」※と定義します。）で複数の予約に対応すれば、乗合区間が発生します。（ここでは、1つの予約に2人以上が同時に乗車する場合は除きます）

この乗合区間の比率（ここでは、「乗合率」※と定義します。）は、平成30年10月に1.51であり、1運行の中の約50%程度の区間は2つ目の予約に対応している状況になっており、かなり乗合されていることがわかります。

※1 運行：空車のバスに乗客が乗車してから最後の乗客が降車するまでの運行を1運行と定義します。

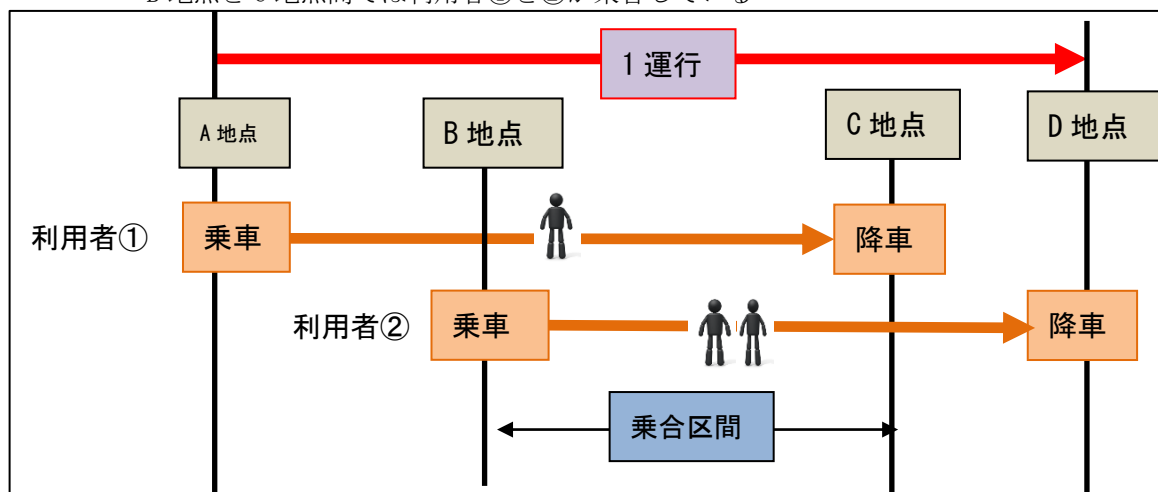
※乗合率：乗車①と乗車②の運行時間合計÷1運行の運行時間（下図参照）と定義します。

図 乗合率の推移



■乗合区間の例 利用者①はA地点で乗車、C地点で降車。利用者②はB地点で乗車、D地点で降車。

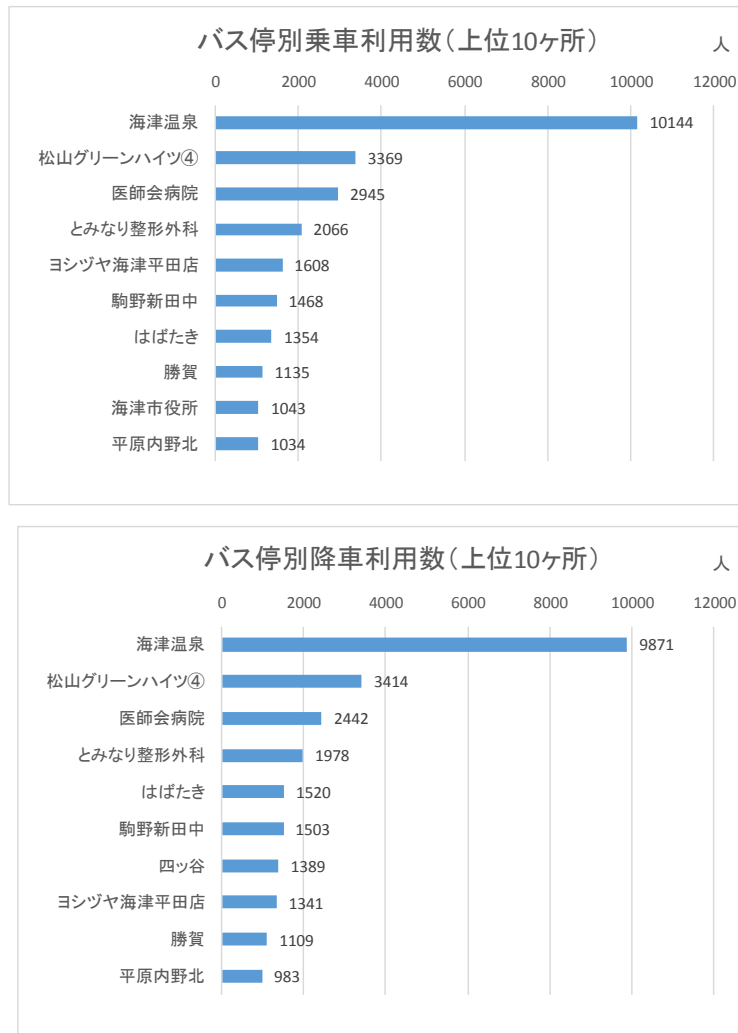
B地点とC地点間では利用者①と②が乗合している



(3) バス停別利用者数

利用の最も多いバス停は海津温泉であり、次いで松山グリーンハイツ、医師会病院となっています。公共施設、診療所、スーパーなどが上位に上がっており、温泉、通院、買い物目的での利用が多いことがうかがえます。

図 バス停別の乗車・降車利用者数



乗降組合わせ(上位10件)

	乗車場所		降車場所	利用数
1	海津温泉	⇒	松山グリーンハイツ④	1,679
2	松山グリーンハイツ④	⇒	海津温泉	1,640
3	勝賀	⇒	海津温泉	1,071
4	海津温泉	⇒	勝賀	1,061
5	海津温泉	⇒	平原内野北	842
6	平原内野北	⇒	海津温泉	799
7	大垣共立銀行海津支店	⇒	駒野新田中	762
8	岡田医院	⇒	松山グリーンハイツ④	758
9	松山グリーンハイツ④	⇒	岡田医院	756
10	駒野新田中	⇒	大垣共立銀行海津支店	755